

デリー・ニューデリー地図





仏教学部研究室



中庭



3/12/2016 Arts Faculty のビルディング

[地図に戻る](#)

キャンパス内の女子学生 →



↑ うら山への道

3/12/2016

ゲストハウス →





NEW DELHIができるまで 政庁がおかれていた所

3/12/2016

[地図に戻る](#)





首都移転にあたってつくられたイギリス人居住地・Civil line

←少々古いが英国調の面影をを残すホテル・メイドン

[地図に戻る](#)

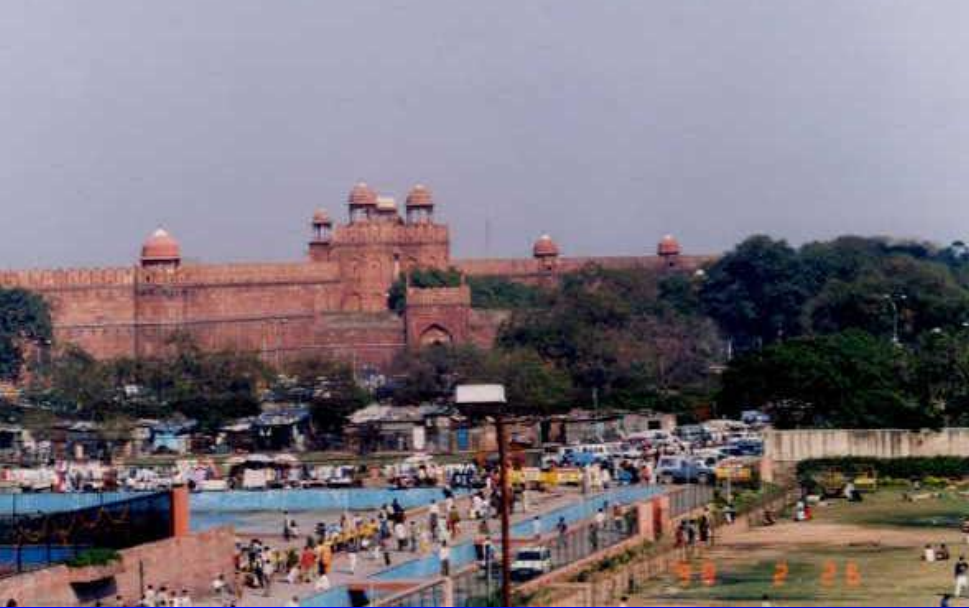


石柱に刻まれた文字が
残っているのが見える



フィローズ・シャーがメルートからデリーへ持ってきたと
言われている

← ジャマ masjid からレッド・フォートを見る

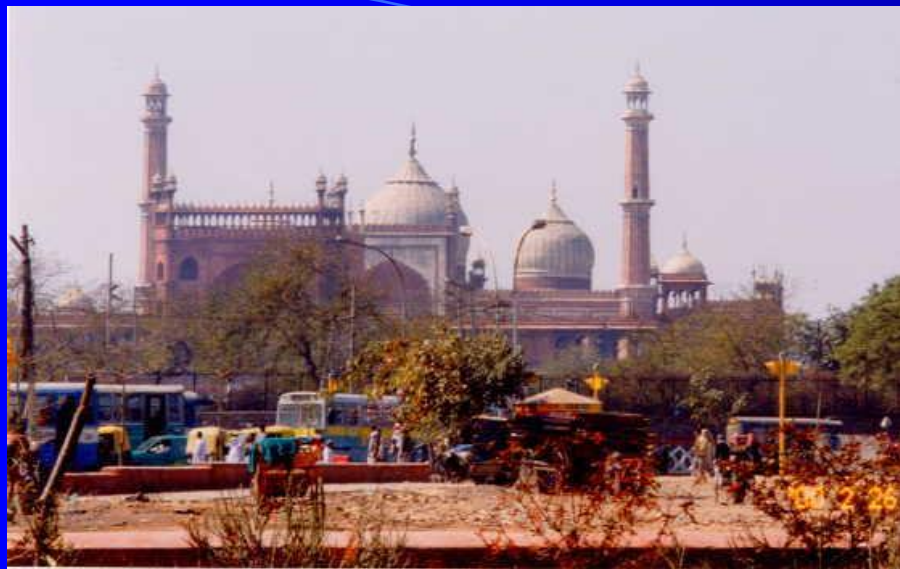


レッド・フォートの中で(左下)

↓ 正門入り口



[地図に戻る](#)

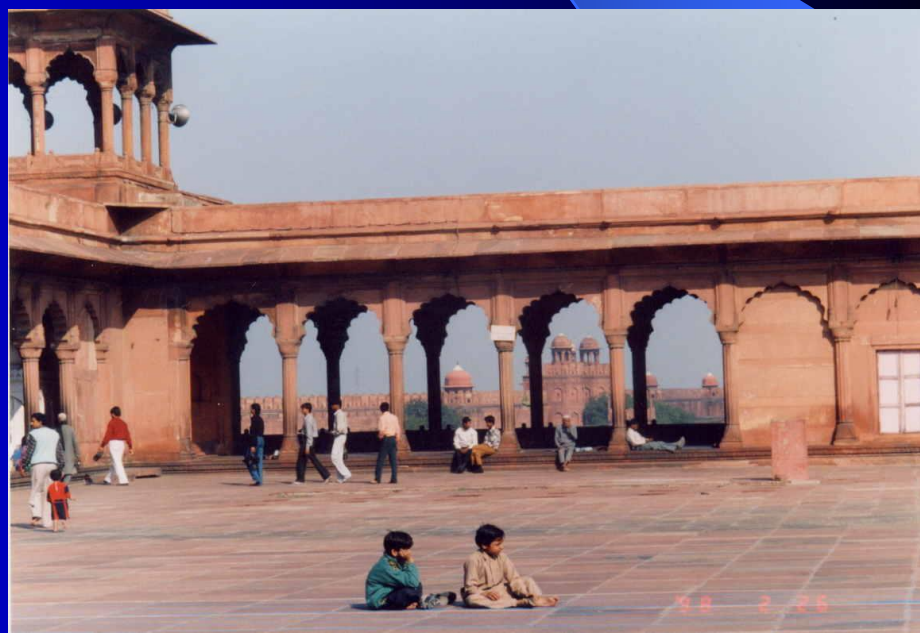


↑ レッドフォートからのながめ



3/12/2016
↑ 正面入り口の階段

[地図に戻る](#)



↑ 背後にレッドフォートが見える



車でごった返すデリー外周道路

(いずれもタクシー内から)

3/12/2016

[地図に戻る](#)





← 正面入り口



← ヴィシュヌ神

ビルラ財団によって二十世紀に建立された



↑ 奥にシヴァ神が見える

[地図に戻る](#)



マハトマ・ガンジーが茶毘に
ふされたところ
訪れる人が絶えることはない



3/12/2016

[地図に戻る](#)



↑ 上から見たコンノート



← 商店街

↑ コンノートサーカスの中心

[地図に戻る](#)



18世紀の天文台跡

[地図に戻る](#)

3/12/2016



正面ドーム下に安置された聖典 ↓



→
寺院横のタンク



3/12/2016



シク寺院正面 ↑

[地図に戻る](#)



← 大統領官邸

官邸からインド門にのびる大通り・
ラージパット →



3/12/2016 [地図に戻る](#)

図書館にて ↓



↑ 正門前にて



[地図に戻る](#)



第1次世界大戦の犠牲者を偲んで建てられた

[地図に戻る](#)

3/12/2016



← 国立博物館遠景



↓ 神官王像(インダス)



→ 踊るシズヴァ像



[地図に戻る](#)

3/12/2016



←

シヴァー族

中央:シヴァの象徴・リンガ

左:ガネーシャ

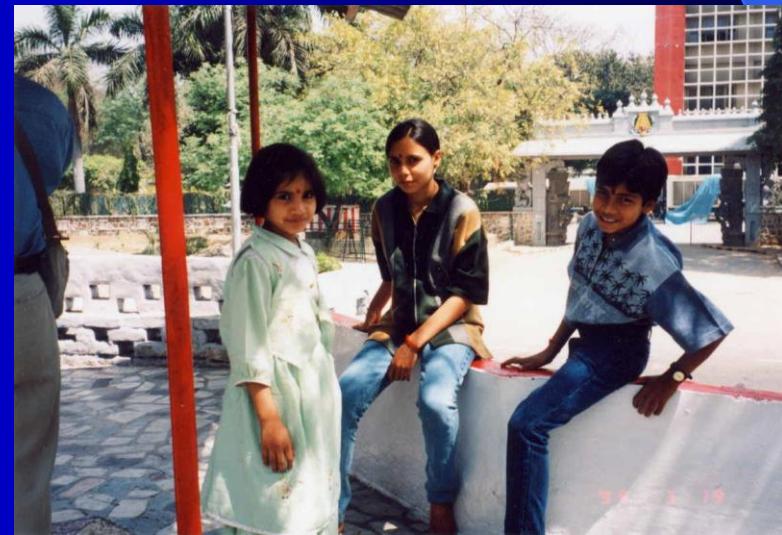
右:韋駄天とナンディン牛

[地図に戻る](#)

シヴァ妃ドゥルガー女神へのプージャー ↓



祠で遊ぶ子供たち ↓





タージマハルに影響を与えたといわれるフーマユーン廟



← 廟正面



↑ 廟内部



宗教歌謡・カッワリー



[地図に戻る](#)



[地図に戻る](#)

ムガル王朝第12代～13代皇帝に仕えた宰相サフダルジャンの墓。

皇帝の墓が残されていないことを思うとムガル末期の惨状が読みとれる

廟内は市民の憩いの場となっている

3/12/2016





↑ クトゥブ・モスクの廃墟

↓ ミナール基部での工事



南デリーに広がるトウグ
ルク朝の廃墟



城の図





← デリー郊外にはてしなく広がる荒野
(ホテルからのながめ)

住宅開発の進む南デリー →
(ホテルからのながめ)



[地図に戻る](#)

プラーナ・キラ(古い城)

← フーマユーンが階段から落ちてそれがもとでなくなったといわれる書庫跡・シェール・マンダール



城内はガランとしている →

3/12/2016

[地図に戻る](#)

